

## 次代への土台となる施設に

### 箸蔵に地域交流拠点施設がオープン

池田町州津の国道沿いに地域交流拠点施設「箸蔵とことん」が完成し、4月21日にオープンしました。

箸蔵とことんは、空き店舗となっていたホームセンターを増築し改修したもので、鉄骨2階建て延べ1300平方メートルの施設の1階は、地元の野菜などを販売する産直市や食堂のほか、カフェや手づくりパンの販売所などがあり、2階は木の遊具を備えた子どもひろばとなっています。

施設は池田博愛会が1億8844万円をかけて整備し



1階



たもので、移住者を受け入れる「生涯活躍のまちづくり構想（日本版 CCRC）」の一環として、国と市の補助金6255万円が活用されました。

施設のオープンを前に、4月19日には内覧会が行われ、多くの来賓や地域の方を前にテープカットなどが行われ、21日には、午前9時のオープンとともにたくさんの家族連れなどでにぎわいました。



2階



## 中国出身の協力隊員が誕生

### 地域おこし協力隊に張楠さんが着任

三好市では第5期生となる地域おこし協力隊の着任式が、4月15日に市役所市長室で行われ中国出身の張楠さんに市長より委嘱状が手渡されました。

中国安徽省出身の張さんは、漫画やアニメに興味を持ったことをきっかけに来日され、2年間は国際交流員として県の国際課に勤務されてきました。国際交流員の任期満了とともに多くの外国人旅行者が訪れる三好市の協力隊に応募されました。

日本語が堪能な張さんは今後、まるごと三好観光戦略課に所属し、中国などへの情報発信や観光プランの造成に携わっていかれます。張さん、よろしくお願いします。



## 市内の職場に若いチカラ

### 新規学卒就職者歓迎式

この春に三好市内の事業所に就職した若者を激励する三好市新規学卒就職者歓迎式が4月17日、池田総合体育館で行われました。

歓迎会は阿波池田商工会議所と三好市商工会および三好市が主催したもので、今年は市内17事業所に31人が就職し、そのうち22人の就職者が歓迎式に出席しました。

黒川市長らの歓迎と激励のあいさつの後、出席した新規学卒者全員に記念品が贈られました。式の最後には新規学卒者を代表し、池田博愛会の山仲依吹さんが「与えられた仕事に全力を尽くし、最善の努力をいたします」と決意を述べました。

歓迎式終了後には、社会人としての基本マナーや来客・電話応対などについての研修会が開催されました。

## 西祖谷中学生が国際交流

### KISグループワークキャンプで訪問

4月12日、KIS（京都インターナショナルスクール）の生徒15名が西祖谷中学校を訪問し、同世代の生徒同士の国際交流が図られました。

KISの生徒はグループワークキャンプとして、4月11日～16日にかけて楽校の宿あるせに宿泊し、三方山の登山道の整備などを行ったもので、この日は西祖谷中の生徒と一緒に音楽の授業を受けたり、グループディスカッションを行ったりして、言葉の壁を越えた交流が図られました。

インバウンド観光客などの増加により外国人を目にする機会が多い生徒たちにとっても同年代の生徒との交流は良い経験になったようです。

この取り組みは、集落保全を目指すNICEと徳島剣山世界農業遺産推進連絡協議会の共同で行われたものです。



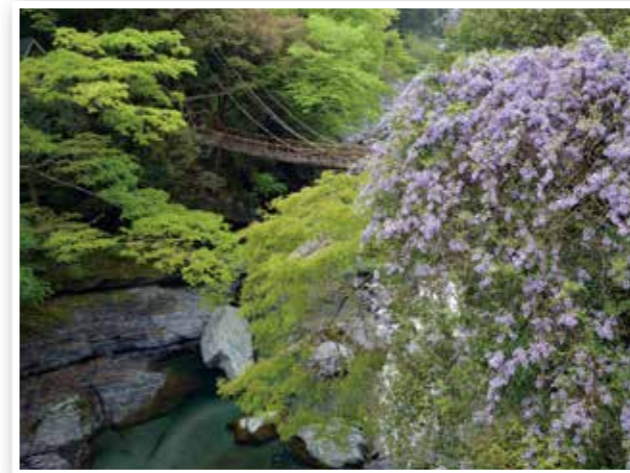
## 桜が舞う中 厳かに練り供養

### 華やかに箸蔵寺 春の大祭

池田町州津の箸蔵寺で4月12日、春の大祭が行われました。爽やかな陽気の中、約20人の僧侶らが列を成して境内を歩く「練り供養」などが営まれました。

正午すぎ、紫とオレンジ色の法衣をまとった僧侶らが、護摩殿前で声明を唱えた後、本殿へ向けて出発。山伏姿の修験者が、ほら貝を吹き鳴らして一行を先導した。僧侶らは、ドラ型の「鏡」やシンバルに似た「鉢」の音を響かせながら、278段の石段をゆっくりと登っていきました。また、その様子を写真におさめようと、多くのアマチュアカメラがシャッターを切る姿がみられました。

本殿では読経が行われ、多くの参拝客が無病息災や家内安全などを祈願しました。この後、日用品などが当たる福もち投げも行われ、大変にぎわいました。



## ゴールデンウィークに色をそえる

### 市内観光地で春の花々が見頃

ゴールデンウィークを目前に控えた4月下旬。市内の主要観光地では桜の花と入れ替わるように、様々な花が咲きほこり、観光客を出迎えています。

100あまりの鯉のぼりが風にたなびく大歩危峡では、地元で岩つつじと呼ばれる「キシツツジ」が見ごろを迎えています。昨年夏の豪雨により、岩の隙間に生えるこのつつじも一時吉野川の激流に吞まれましたが、今年も薄紫の花が咲き、遊覧船に乗る観光客の目を楽しませています。また、祖谷のかずら橋の横には、大きな山藤が甘い香りとともにたくさんの花をつけ、見事な景観を見せています。この日もベストショットを狙う多くのアマチュアカメラマンがしきりにシャッターを切っていました。



例年のゴールデンウィークには、3万人近い観光客がかずら橋を渡っており、最長10連休となる今年のゴールデンウィークも、これらの花々がたくさんの観光客を喜ばせてくれることでしょう。